



吉田初三郎「函館市鳥瞰図(部分)」堺市博物館蔵

函館市には本州と北海道をつなぐ青函連絡船の発着港があり、長く北海道の玄関口の役目を担いました。

昭和11(1936)年の吉田初三郎「函館市鳥瞰図」は道内有数のにぎわいを誇った港町函館を描いた美しい作品です。縦76cm×横331cmに及ぶ大型のパノラマ鳥瞰図は堺市博物館が所蔵する逸品です。企画展では、本作品を展示します。額装で飾られたことがなく、一枚の画布を巻いた状態で保存されていたため、褪色がほとんどなく、描かれた当初の鮮やかな色彩をきれいに残しています。

与謝野寛・晶子夫妻が函館を訪ねた5年後の景観ですが、五稜郭や函館図書館など二人が訪れた場所も描かれています。

企画展の会場を美しく彩るこの作品との出会いを楽しんでください。

(さかい利晶の杜学芸員 矢内一磨)

目次

1 企画展特集

「函館市鳥瞰図」について

2 企画展特集 コラム

全ての人が楽しみ理解できる芸術を
一初三郎式鳥瞰図の魅力について

3 茶室対談

山本知史さん(演出家)×矢内一磨(さかい利晶の杜学芸員)

4 お知らせ

企画展「みてさわって堺のやきもの」
レポート
企画展「晶子をはぐくんだ堺の文学」

5 学芸茶話

学芸員ってどんなお仕事をしているの?～資料収集編

6 知る・学ぶ

展示予告

企画展特集

企画展「与謝野寛・晶子夫妻の旅
— パノラマ地図でたどる観光名所 —」

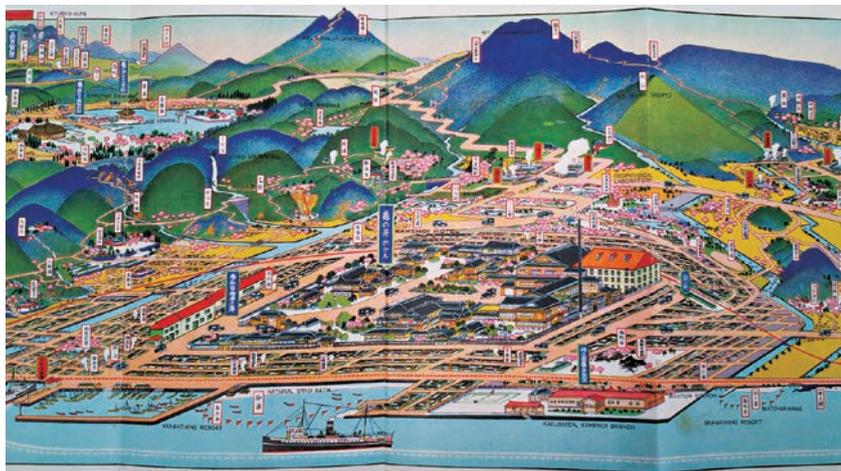
与謝野寛・晶子夫妻は、生涯にわたり数多くの旅に出ましたが、寛58歳、晶子53歳の昭和6（1931）年は、夫妻で旅した回数が最も多い年でした。

本展では、その年に夫妻が旅した北海道、九州、四国の旅に注目します。北海道へは函館や旭川などでの講演のために旅しました。

九州の大部分への旅は亀の井ホテル創業者で「別府観光の父」油屋熊八に招かれ、手のひらの大きさを競う大掌大会の賓客として赴きます。四国へは、各地での講演のために訪れ、同時に観光名所をめぐりました。

本展では、夫妻がめぐった昭和6年の旅をたどり、同時代に活躍

した吉田初三郎のパノラマ地図で二人が訪れた観光名所をより詳しく紹介いたします。与謝野夫妻の旅を通じて、昭和の観光文化についての理解を深めていただければ幸いです。



吉田初三郎「亀の井ホテル鳥瞰図(部分)」堺市博物館蔵

■ 展覧会情報

[会期]

令和3(2021)年11月20日(土)～
令和4(2022)年1月23日(日)

[休館日]

第3火曜日(12月21日、1月18日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

[開館時間]

午前9時～午後6時(最終入館午後5時30分)

[関連イベント]

○記念講演会「与謝野夫妻の北海道紀行と石川啄木」

講師：与謝野晶子倶楽部会長 天理大学名誉教授
太田登氏

日時：令和3年12月5日(日)午後2時～午後3時30分

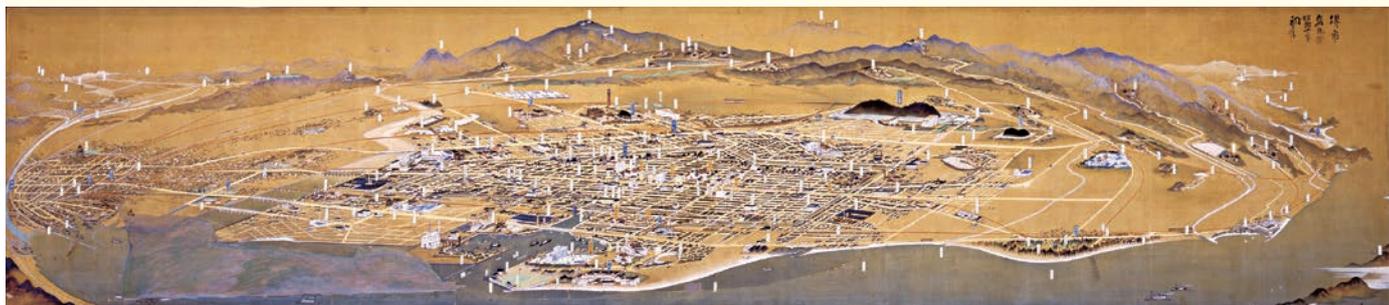
○学芸員による展示解説

日時：令和3年11月27日(土)午後2時～(20分程度)
いずれも11月1日(月)より申込開始

*詳しくは電話またはメールでお問い合わせください。

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
内容が変更になる場合があります。

企画展
与謝野寛・晶子
夫妻の旅
パノラマ地図でたどる観光名所



吉田初三郎「堺市鳥瞰図」堺市博物館蔵

コラム

全ての人が楽しみ理解できる芸術を
— 初三郎式鳥瞰図の魅力について

まるで空高く舞う鳥の目を借りて大地を見ているかのような視点。地図を大きくU字に曲げ、本来は見えない範囲も画面に収めてしまう独特の構図。しかしながら、街の中にとどのような名所や建物、交通機関があるのか一目でわかるようになっている配置の妙。

大正から昭和期にかけて活躍した鳥瞰図画家である吉田初三郎(1884～1955)の作品を目にした時、そのような点が印象に残るのではないのでしょうか。

1928年に発表された「如何にして初三郎式鳥瞰図は生まれたか?」という文章の中で、初三郎は自身の仕事を、江戸時代以来の画法を活かしつつ「大正昭和時代に生まれたる日本特有の芸術としての存在」を示すことであると述べています。また「万人が見て楽しみながら解り得べきもの」を作ることが自身の芸術に対する信条なのだとも記しています。

同じ文章の中で、初三郎が「幾何学的な測量図や平面図」あるいは「模型図」について低い評価を与えているのは非常に興味深いところです。そこに、「あくまでも芸術でありつつ、全ての人が見て楽しみ、理解できる作品を作る」という初三郎の芸術家としての意識を読み取ることもできそうです。

吉田初三郎の作品は、多くがパンフレットなどの実用的な観光案内のために作成されたものですが、彼自身の作品に対する考え方を考える時、また違った印象を抱くのではないのでしょうか。

(堺市博物館学芸員 江坂正太)

矢内一磨

さかい利晶の杜学芸員。今回の企画展担当です。



矢内一磨(さかい利晶の杜学芸員)

茶室 対談

山本知史(演出家)



山本知史

演出家。2007年より旅行会社パインツーリストに勤務。2020年より広告イベント業パイン&プレイング開業。劇団パイン&プレイング主宰。与謝野晶子の幼少期の夢をイメージした「和菓子を食べた猫」をさかい利晶の杜で公演予定(詳しくはHPを参照ください)。現在「い」でも劇場」を展開中。

企画展「与謝野寛・晶子夫妻の旅ーパノラマ地図でたどる観光名所ー」をテーマに、茶室「得知軒」で対談を行いました。(敬称略)

発見と共感 与謝野晶子の旅

●物語と共感

矢内 山本さんは旅、それから演劇などさまざまな分野に果敢に挑戦されておられるイメージがあります。旅や演劇は、生活の一部ですか。

山本 はい、そうですね。1999年に劇団を立ち上げて以来、「物語」の強さを感じています。「物語る」ことが私の人生で、旅や演劇はその舞台のようなものかなと思っています。物語には起承転結があり、人間の人生そのものです。それを短くまとめた演劇に(歌や随筆にも通じますが)、感動や共感を生み出す力を感じています。

矢内 「共感」は21世紀の博物館の大事なコンセプトでもあります。旅は発見のチャンスも与えてくれますが、共感は旅への原動力ですね。

山本 旅も芝居も、自分とは違う世界に行って、そこから自分と同じものを見つけ、共感の糸を結んでいきます。博物館もある種の旅であり、芝居だと思っます。晶子を追いかけて巡る旅を推奨したいです。

●与謝野晶子の旅

矢内 与謝野晶子の旅は、講演会やイベントに招かれていく出張旅なんですね。制約されているが、さまざまな名所を訪ねています。

山本 制約された旅だからこそ、どうやって楽しんでやるかという思いが強くなったんじゃないでしょうか。また旅先でしか感じられないものが、歌に詠まれているのではないかと思います。

矢内 企画展では、与謝野夫妻の昭和6年の旅を紹介しています。パノラマ地図を見ながら、与謝野夫妻の旅をたどっていくことができます。

山本 さかい利晶の杜は観光拠点でもあるので、企画展をみて、ここから始まる旅もありえるのではないのでしょうか。

矢内 知的好奇心に根ざし、わくわく感を持つ市民や堺を訪れる人たちに旅の出発点として文化観光拠点の当館へご来館いただきたいです。与謝野晶子は、昭和6年に別府を訪れます。日本の観光を近代化した油屋熊八に招かれるんですが、彼は、ガイド付き遊覧バス、ナースが常駐する宿など斬新な企画を考案しました。全国から大きな手の人を集めた大掌大会も催します。大会には油屋に呼ばれたパノラマ地図画家の吉田初三郎、食レポ作家の松崎天民なども集まって、別府を盛り上げます。

山本 現在のイベントーにあたる人ですね。考えていることが今と何の遜色もないですね。

矢内 今でこそ別府は温泉地として有名ですが、昔は畑も田んぼもつくれない地獄だと言われていました。そこを国際遊覧観光地にしていきました。

山本 ネガティブをポジティブに。見方を変えたら世界は変えられますね。油屋に招へいされた与謝野晶子は、流行最先端の文化人だったことが窺えますね。

矢内 実は私は与謝野夫妻と同じ季節、ルートで別府へ行きました。別府港に着いたときの朝の雰囲気や、夫妻が宿泊した亀の湯別荘の紅葉の美しさを感じました。このような景色を見て、与謝野夫妻は歌を詠んだんだなと思ひ感動しました。

山本 100年、2000年で山のかたちは変わらないですよ。与謝野夫妻と同じものを見て、それから歌に歌に触れるとさらに感動しますね。忙しい現代の女性と晶子には共感できる部分も多いのではない

かと思っています。晶子の心を通じて自分の心もどきこめるかもしれません。

●さかい利晶の杜で出会う共感の旅

矢内 心のこ馳走も必要です。当然景色が変わっている場所もあるので想像力が必要です。堺では与謝野晶子の生家跡に「海恋し潮の遠鳴り数へつ」、少女となりし父母の家」という歌碑があります。今ではそこで潮の遠鳴りは聞こえませんが。しかし、堺港の灯台までいったら感じてもらえると思います。晶子が感じた陽光や風、潮のにおいは大きく変わらないのではないかと思います。

山本 それぞれの年代で感じる晶子の歌の見え方が変わるとも思います。旅行業を13年やっていますが、覚えているのは言葉やその時感じた気持ちだったりします。心が震えたことは記憶しているんですけど、学ぶ、知るといことは心が震えることでもあります。博物館は、土地の歴史を紐解いていく場所になるのではないのでしょうか。

矢内 与謝野晶子と千利休は、時間に隔たりはありますが、堺で過ごしたことは共通しています。一般的な旅は、同じ時間で違う空間を移動しますが、利晶の杜では、同じ空間で違う時間を移動することができます。

山本 タイムマシンになり得ますね。

矢内 土地の持っている力。そのとっかかりが晶子の文学であり、利休の茶であると思っています。

山本 ものや場所 実際に見えるものだけではなく、人の気持ちが存在している。コロナ禍では空間の移動はしづらいますが、想像力を使って時間の移動はできますね。晶子の歌の時間を越えた共感に私は注目しています。幼少期の晶子には会うことはできませんが、想像することはできます。想像力を補完するものとして物語をつくっていったらと思っています。

お知らせ

企画展「みてさわって 堺のやきもの」

堺では古くから多くの窯が築かれ、さまざまなやきものがつくられてきました。本展では、19世紀から現代にかけてつくられた堺ゆかりのやきものを展示します。茶道具としても使われている漆焼や復興本漆焼などを茶事の流

れに沿って紹介します。今年で20周年を迎えた堺陶芸会は、堺を拠点に活動し、堺の土を素材としたやきものを制作してきました。そのなかから、新作を含む陶芸作品や茶碗などを展示します。また堺陶芸会が長年にわたり交流のある堺市国際姉妹都市ニュージブランドのウェリントン陶芸家協会の作品も展示します。

一部の作品は実際に触れていただくこともできます。みて、さわって、堺のやきものを体感していただく機会になれば幸いです。



堺陶芸会会員
上段左より：嘉見、大橋、泉谷、本田山、マホニー
中段：屋馬
後段左より：堀川、米地、佐藤、樹田(敬称略、姓のみ)

伝統的な陶芸やオブジェ作品、そして抹茶碗「堺焼」などを展示しています。特に堺の土で作った抹茶碗「堺焼」は、現代の堺伊羅保茶碗、堺楽茶碗として展示しております。

企画展
みてさわって
堺のやきもの

WATCH! TOUCH!
SAKAI YAKIMONO

■ 展覧会情報

[会期] 令和3(2021)年10月16日(土)～11月14日(日)
[休館日] 第3火曜日(10月19日)
[開館時間] 午前9時～午後6時(最終入館午後5時30分)
[関連イベント]

- ワークショップ「わたしだけのティーパーティ！」
講師：三好帆南(千利休茶の湯館学芸員)
日時：令和3年11月3日(水・祝)
①午前10時30分～午前11時30分 ②午後2時30分～午後3時30分
- 講座「おだしのヒミツ お出汁と堺の老舗の味を教わる」
講師：望月秀樹氏(もち月一味庵店主)
日時：令和3年11月6日(土) 午前11時～午前12時
- 展示解説
日時：令和3年11月7日(日)
①午前11時～ ②午後2時～(各回20分程度)
- 特別鑑賞「さかい焼ってなんだろう。」
日時：令和3年11月13日(土)、14日(日) 午前10時～午後4時
*詳しくは電話またはメールでお問い合わせください。
*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容が変更になる場合があります。



大澤鯛六「復興本漆焼 交趾写緑釉大亀香合」
堺市博物館蔵



堺陶芸会「とりさん」個人蔵



堺陶芸会「堺黒楽茶碗」個人蔵

レポート

『みだれ髪』刊行120年記念
企画展「晶子をはぐくんだ堺の文学」

令和3年9月11日(土)～10月11日(月)

与謝野晶子の第一歌集『みだれ髪』は、20世紀の幕開けとともに、近代短歌に大きな影響を与えました。

『みだれ髪』に収録された歌には、堺で過ごしていた時期に詠んだ歌が多く収録されており、晶子の才能はそのころから開花し始めていました。

本展では、近代短歌を象徴する『みだれ髪』が刊行されるまでの文学活動や、晶子と交流があった同人たちを紹介し、晶子の短歌創作の原点を探りました。

企画展紹介動画を製作して配信したり、『みだれ髪』の中からお気に入りの短歌を投稿してもらおう企画も行いました。投稿者には、

与謝野晶子倶楽部と堺市博物館との共同調査研究会報告書「晶子さかい拾遺」を配布しました。
なお、本展は、5月の白桜忌の時期に開催を予定していましたが、緊急事態宣言発令による臨時休館のため開催中止となり、期間を変更して行いました。



与謝野晶子第一歌集『みだれ髪』初版
堺市博物館蔵

晶子	を	は	ぐ	く	ん	だ
堺	の	文	学			

学芸茶話

学芸員って
どんなお仕事をしているの？
〜資料収集編〜

学芸員のさまざまな仕事内容について紹介するコーナーです。第1弾は、貴重な資料が当館のコレクションになるまでの「資料収集」についてです。



森下明穂
さかい利晶の杜学芸員。
与謝野晶子記念館を担当。

（一）資料の声をきく — 資料収集 —

博物館の大切な仕事のひとつに資料収集（資料を集めること）があります。博物館は資料がないと成り立ちません。今回は、収集についてお話しをしましょう。

まず、資料を収集するためには、情報が不可欠です。与謝野晶子の資料の場合、一番多いのが所蔵者からの連絡です。さかい利晶の杜（以下、当館）が開館してから、与謝野晶子ゆかりの方や古い書や出版物のコレクターの方を中心に、毎年寄贈を受けています。特に、マスコミから「与謝野晶子の新資料発見！」といった情報が流れると、「うちにもこんな資料が…」という連絡が増えます。連絡をくださる方から、「当館だったら活用してくれると思って…」と、言われ、嬉しさと共にその責任の重さをいつも痛感します。



②寸法を測る



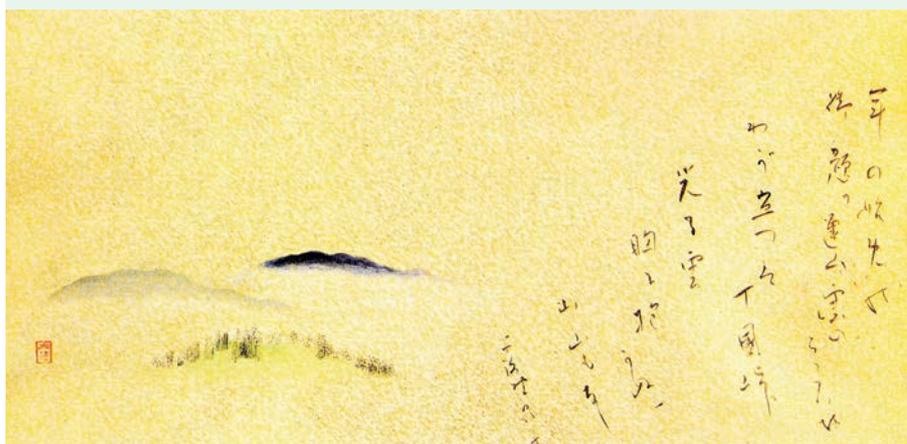
①資料をひらく

収集には、寄贈と購入がありますが、どちらの場合でもしっかりと資料の詳細を調査します。サイズや材質、作られた年代や内容だけでなく、資料の傷み具合や箱などの付属品などについても調書に書いていきます。特にその資料の歴史、つまりプロフィールを聞いて、どんな価値があるかを調べます。書かれている短歌は、未発表のものだろうか、有名なものだろうか、初期の作だろうか最晩年作だろうか、他の晶子の筆跡と比べたり、晶子の著書や研究書から背景を調べたりします。学芸員をしていて何より嬉しいことは、晶子の書いた字を間近に見て触って、その声をきき、感じる時間ができることです。ある時、晶子が半身不随になってから一生懸命書いた書【下図参照】を見て、字が乱れています。「歌を作りたい」という強い意志とその情熱を肌で感じ自然に涙が溢れたこともありました。



③記録写真を撮る

こうして作成した調書をもとに審議され収集にいたります。そして皆さんに、学芸員が感じた「資料の声」をどのように伝えるかを試行錯誤し、展覧会や出版物などで公開していきます。私たち学芸員が後世の人たちに伝え続けていくための最初の大切な仕事は収集なのです。



与謝野晶子歌・筆、和田三造画 掛軸「連峯之雲その一」堺市博物館蔵

知る・学ぶ

パネル展「与謝野晶子の生涯と作品」
令和3年9月11日(土)～10月3日(日)

与謝野晶子についてより深く知ってもらうために、その生涯と作品を紹介したパネル20点を制作し、一堂に公開しました。展示したパネルは、展示終了後、堺市内の小中学校等を中心に貸出を行い、図書室や体育館、空き教室などで展示活用してもらいます。将来は、学校以外の自治会館や病院、介護施設などのさまざまな機関でも利用していただきたいと考えています。

今後も、堺が誇る与謝野晶子の生涯と作品の魅力をもっと多くの市民の皆様にご覧いただくことを願っています。



知る・学ぶ

さかい利晶の杜がよーくわかる
わくわくガイド

当館の魅力をお伝えすることも向けガイドができました。団体鑑賞や授業で来館される先生や児童・生徒のみなさまにもご利用いただけます。

ガイドを持って館内を巡っていただくことで、千利休茶の湯館、与謝野晶子記念館の展示の見どころをより深く学んでいただくことができます。また展示室以外の知られざる見どころを探すコーナーにチャレンジしていただいたみなさまには、お楽しみチケットをお渡ししています。次回来館時にお持ちいただくと、素敵なプレゼントが！(なくなり次第、配布終了)



展示予告

パネル展「晶子とスペイン風邪②
— 未来への希望 —」
令和4年2月16日(水)～3月14日(月)

全国文学館協議会主催の共同展示「3・11文学館からのメッセージ」の第10回(本年度で最後)のパネル展です。昨年に引き続き、「晶子とスペイン風邪」をテーマに、100年前のスペイン風邪流行時のパンデミック(世界規模での感染拡大)と自然災害から立ち上がる人類の力強さや希望を、晶子の思想を通じて紹介するものです。



スペイン風邪流行時の啓蒙ポスター
(国立保健医療科学院図書館提供)

編集後記

『さかい利晶の杜学芸だより』は、本号より企画展開催時期に合わせて、例年の発行時期から変更してお届けすることになりました。また、ご来館が難しい方でも、学芸だよりをご覧いただけるように、さかい利晶の杜公式ホームページにオンライン版を掲載しています。ぜひご覧ください。

本号編集担当 三好帆南(千利休茶の湯館学芸員)

SAKAI RISHO NO MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

千利休茶の湯館

茶の湯体験施設

与謝野晶子記念館

観光案内展示室

〒590-0958 大阪府堺市堺区宿院町西2丁1-1
TEL.072-260-4386 FAX.072-260-4725
https://www.sakai-rishonomori.com



開館時間

- 千利休茶の湯館・与謝野晶子記念館・観光案内展示室
9:00~18:00
※千利休茶の湯館・与謝野晶子記念館 入館は17:30まで
- 茶の湯体験施設
10:00~17:00

休館日

- 千利休茶の湯館・与謝野晶子記念館・茶の湯体験施設
第3火曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始
- 観光案内展示室
年末年始

